

「大学間連携による新進舞踊家  
および新進ファッションテキストスタイルの  
デザイナー育成プロジェクト」



# 踊る身体 ファッションスタイル



Choreographer &  
Fashion textile designer

- Noriko Seki
- Masako Yokoi
- Nao Ashimine
- Lee Min Young
- Hanako Yamaguchi
- Miyuki Hirasawa
- Shiho Numata
- Lisako Ishigami
- Momoko Oguri
- Sayo Iwai

日時 2015年 2月 11日 (水) 祝  
Aプログラム 13:00 開演  
Bプログラム 17:30 開演

会場 スパイラルホール (スパイラル3F)  
東京都港区南青山5-6-23  
チケット 前売 / 3,500円 当日 / 3,800円  
学生前売 / 2,500円 (ご来場時に学生証をご提示ください)  
全席自由 予約受付は公演前日まで



平成26年度 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業  
主権 文化庁 お茶の水女子大学 女子美術大学

# 踊る 身体 と ファッション テキスタイル

本プロジェクトは、平成26年度文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業委託事業」として、新進舞踊家と新進ファッションテキスタイルのデザイナーを対象に、舞台空間のさらなる可能性を拓くための公演とそれに関する研修の場を設け、今後の自らの創作活動に活かすことができる広い知識と視野を得る機会を提供することを目的としたプロジェクトです。

本プロジェクトでは、舞踊部門とファッションテキスタイル部門を設置し、公募によって各部門より5名の新進振付家、5名の新進デザイナーを選出いたしました。振付家1名、ダンサー7名以内、デザイナー1名、デザイナー補佐4名以内を1チームとし、全5チームを結成し、約7ヶ月の創作期間の中で研修やリハーサルを重ねて参りました。本公演は、その集大成として開催されるものです。

平成26年度育成対象者

## 舞踊部門



沼田志歩

幼少より山路瑠美子に師事。お茶の水女子大学卒業後、アムステルダム芸術大学編入。卒業後、ヨーロッパを拠点に活動しイスの Gisela Rocha Dance Company などに所属。また '08 よりダンスハウスにて自作の発表を始め、海外のフェスティバルへ招聘される。14 東京なかの国際ダンスコンペティション第1位、全国舞踊コンクール創作部門第2位など多数受賞。現在、都立総合芸術高校特別非常勤講師(舞台表現科)【Bプログラムのみ出演】



山口華子

藤井公・利子、本間祥公に師事。お茶の水女子大学卒業。本間祥公と共に H/Y ダンスエテルノ主宰。第66回東京新聞主催全国舞踊コンクール創作部門で1位、また振付において2014年埼玉全国舞踊コンクールにて指導者賞受賞。エテルノシリーズ企画、新国立劇場主催公演などに作品を発表。2011年より文化庁在外研修員として、ドイツミュンスター市立劇場にて研修、ズザンナ・リンケ、ダニエル・ゴルディンなどの作品に出演。現在国内で振付、ワークショップなどを行い、好評を得ている。

【Aプログラムのみ出演】



安次嶺菜緒

3歳からクラシックバレエをはじめ、現在、鈴木ユキオ主宰「YUKIO SUZUKI Projects」メンバー。ダンサーとしての出演他、振付補佐・ワークショップアシスタントも行っている。また、山田せつ子との共演や、振付作品でSTスポットラボ20「ラポアワード」を受賞するなど、個人の活動も少しずつ展開中。

www.suzu3.com 【A、Bプログラム出演】



小栗 百子

富山県出身。幼少より清水美和子にモダンダンスを学ぶ。2005年より英二三枝子、馬場ひかりに師事し、現在まで数多くの作品に出演。2009年お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒業。2011年お茶の水女子大学大学院博士前期課程 舞踊・表現行動学コース修了。また、2012年に大学の同期と「ソックス」を結成。2012年神楽坂 die pratz、2013年 THEATER BRATS にて単独公演を企画し、作品創作と公演活動を続けている。

【A、Bプログラム出演】



関 典子

幼少よりバレエを学び、コンテンポラリーダンスに転向。イシグロダンスシアター、H・アール・カオス、富士山アネット、和栗由紀夫、サイトウマコト、いいむらなおき、黒田育世らの作品に出演。「禁欲性と官能性を併せもつ身体性」と評され、美術・音楽・殺陣・3Dホログラム映像など、他ジャンルとのコラボレーションにも精力的。お茶の水女子大学大学院修了、現在、神戸大学講師。日本ダンス評論賞、兵庫県芸術奨励賞など受賞。

【A、Bプログラム出演】

## ファッションテキスタイル部門



石上理彩子

2009年女子美術大学芸術学部ファッション造形学科首席卒業。同年、渡仏「L'École de la chambre syndicale de la couture parisienne」にてモダリズム・ステリズムを学ぶ。帰国後テキスタイルデザイナーとして企業に勤務。現在、女子美術大学に勤務。ジュエリーブランド moiil のデザイナーとしても活動。地上から5cm浮いて生活中。【Bプログラムのみ出演】



平沢みゆき

2007年女子美術大学芸術学部ファッション造形学科卒業。卒業制作作品「cover for chair」がファッション造形学科奨励賞を受賞。2009年同大学院美術研究科デザイン専攻修士課程ファッション造形研究領域修了。修了制作「平々凡々」が大久保婦女子賞を受賞。ファッションテキスタイル表現領域特任助手を務めた後、「着る人と、見る人のイメージをゆさぶる、しかけのある服作り」というコンセプトのもと、衣装制作、ギャラリーでの展示会活動などを行う。【Aプログラムのみ出演】



イミニョン

ソウル出身。ソウルで芸術中高を卒業後、三宅一生の世界観に共感し来日。2013年多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルコース卒業。在学中、多種多様な展示やイベントを企画立案。主にインスタレーションを発表。卒業作品(Umbrella Projects - Shibuya / Ginza / Iriomotejima)では、傘の制作を中心に映像や本など様々な媒体を用いて研究に取り組む。卒業後、舞台美術や舞台衣装を勉強する為、イギリスに一年間留学。現在、日本を活動の拠点においている。【A、Bプログラム出演】



岩井佐代

高校時代に油絵を学んだことにより色彩に興味を持ち、女子美術大学在学中はテキスタイルデザインを学ぶ。2010年女子美術大学短期大学部専攻科造形専攻工芸デザインコース修了。修了制作「虚・ウツヲ」が優秀作品賞受賞。13年から同研究室に助手として勤務する傍ら「いくつになってもファッションが好き女性へ」をコンセプトにアクセサリーを制作している。【A、Bプログラム出演】



横井理子

高校時代からファッションの世界を志し、16歳の時に交換留学制度にてフランスで学ぶ。2014年女子美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程ファッション造形研究領域修了。2014年学生企業家選手権において優秀賞を受賞。現在、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科博士課程在籍。衣服の新しい価値を創出し、人を幸せにすることを目的に研究し、同時にビジネス展開を行う。また、黒沢美香の指導のもと、ミカヅキ会議という名で大学教員らとともにダンス活動を行う。【A、Bプログラム出演】

チケット予約 お問い合わせ

お茶の水女子大学 舞踊教育学コース助手室 (<http://www.li.ocha.ac.jp/geijutsu>)  
03-5978-5271  
mail ochi.yumiko@ocha.ac.jp

女子美術大学 ファッションテキスタイル研究室 (<http://joshibi-ft.com/>)  
03-5340-4651  
mail t@venus.joshibi.jp

前売 / 3,500円 当日 / 3,800円 AB共通チケット / 6,000円

学生前売 / 2,500円 (ご来場時に学生証をご提示ください)

全席自由 予約受付は公演前日まで

Aプログラム 13:00 (開演) Bプログラム 17:30 (開演)

メールでチケットをご予約される際は氏名とご希望枚数とAプログラム、Bプログラム、共通プログラムのいずれかをご記入の上、件名をチケット予約とし、上記のアドレスにご連絡下さい。

会場

スパイラルホール(スパイラル3F)  
〒107-0062  
東京都港区南青山5-6-23  
03-3498-5936(会場直通・当日のみ)

アクセス

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線  
「表参道駅」B1出口前もしくはB3出口より  
渋谷方向へ徒歩1分  
B3出口にはエレベーター・エスカレーター  
が有ります。

